

にわうるし

柴田学園報

第6号

(年2回発行)

□発行 学校法人柴田学園 〒036-8503 青森県弘前市上瓦ヶ町25番地 ☎0172-32-6151



子どもの気持ちに
向き合いながら
実践

東北女子大学児童学科・東北女子短期大学保育科では多くの学生が幼稚園教諭・保育士の道を目指して学んでいます。「すこやかな子どもの育ちが社会の基礎をつくる」という使命感をもって…。

「三つ子の魂百まで」



東北女子短期大学
学長 河西 達夫

本学保育科卒業生の大部分は幼稚園や保育所に勤務していますが、これらの学生は在学中ほぼ2か月間、現場で貴重な実習体験をさせていただいています。実習のあと、お世話になった先生方をお招きして、お礼を兼ねた反省会を開いています。そのときは冒頭の言葉を引用して、この年頃の幼児教育の重要性をお話しています。

「ここで『三つ子』というのは三歳児と限定するのではなく、もう少し広い意味で五歳以下の幼児を指し、『魂』は性格、そして『百まで』とは百歳、すなわち人生そのものをいいます。結局、この言葉の意味する所は、五歳以下の幼いときに作られた性格は、その子の一生を通じてその人格形成の基盤となることを教えています。幼児の行動の多くは本能的、模倣的で、日常の言動や動作は、自分の周囲にいる人々、ことに接触時間が多いお母さん、家族、そして日中は保育所や幼稚園の先生方の影響を強く受けるものと思われます。この年頃の記憶はいわゆる「本能記憶」といわれているもので、脳の中では脳幹部の近くに、脳の海馬という所で記憶され、からだで覚える忘れにくい記憶といわれています。小学校に入る頃になりますと、もうひとつの記憶中枢が大脳皮質の側頭葉に発達し、これは「学習記憶」といわれているもので、学校で先生の言われることを覚えたり、また本を読んで理解したりできるようになります。これはどちらかというと忘れやすい記憶で、反復学習することが必要です。学習記憶は5〜6歳頃から発達しますから、この頃小学校に入学するのは合理的なことだと思います。昔から使われてきた「三つ子の魂百まで」という言葉は、三歳までに人間の脳が急速に発達すること、育児環境の良し悪しが発達して及ぼすというように、理に適った表現で示しており、興味ふかいところです。

学園事業 地域交流

豊原キャンパスの改修計画すすむ 旧女子大校舎・体育館を有効活用

豊原校地のキャンパス改修計画が進められています。これは柴田女子高等学校の校舎新築計画に、平成22年度解体工事で残された旧東北女子大学跡地の図書棟（コンピュータ実習室併設）と体育館とを渡り廊下や通路で連結して一体的に有効活用する構想です。その第一段階として、キャンパス内にある高校第二体育館の取り壊しが決定しました。

昭和41年竣工のこの体育館は教育・スポーツ活動や入式・卒業式をはじめさまざまな行事や文化活動の催しに使われ、長年生徒育成の場として活用されてきました。今後は第一体育館と旧大学体育館を併用して、次世代に向けた新たな取り組みをしていくことになり



スポーツ設計の高校第一体育館

第二体育館取り壊し後は見通しが良くなるため、通路から第一体育館壁面に刻まれた「SHIBATA GIRLS HIGH SCHOOL」の瀟洒な文字が目飛び込んでくることとなります。

東北女子大学
・調理学実習室に空調機器（エアコン）を導入。
東北女子短期大学
・調理学実習や給食管理実習（カフェテリア実習）などで用いる食材の安全確保のため、食品放射能測定器を測定する「食品放射能スクリーニングシステム」を購入。
東北栄養専門学校
・視聴覚室のパソコン41台・ストレージサーバー・画像転送システムを更新。空調機器（エアコン）を導入。
柴田幼稚園
・園内外の環境整備（園舎外塗装・内装補修工事および園庭遊具を一部更新）

弘前市内6大学で構成する「学園都市ひろさき高等学校教育機関コンソーシアム」のシンポジウムが、12月1日に弘前大学医学部で開かれました。



地域資源活用研究について報告する今村先生

■平成25年度学園合同行事を会場変更して実施
弘前市民会館が25年1月14日から12月末まで改修工事で休館となるため、学園では例年同館を使用して行なってきた合同行事を、次のように会場を変更して実施する予定です。

- ▽24年度卒業式／4校合同
▽とき 3月16日(土)10時
- ▽ところ 青森県武道館
- ▽25年度入学式／東北女子大
▽とき 4月6日(土)10時
- ▽ところ 同校体育館
- ▽25年度入学式／東北短大・東北栄養専門学校
▽とき 4月8日(月)10時
- ▽ところ 弘前文化センター
- ▽創立90周年記念式典
▽とき 5月14日(火)10時
- ▽ところ 青森県武道館

■認定ベビーシッター資格
短大保育科では、公益法人「全国保育サレビス協会」に認定ベビーシッター資格取得指定校の申請を行い、25年度入学生から取得の予定で準備を進めています。集団保育のプロである保育士資格に、在宅保育のプロであるベビーシッター資格を付与し、多様な保育サレビスに対応できる保育士を養成するのが目的です。東北では初めての設置で、将来にわたって保育職を続ける場合の選択肢が広がるものと期待されます。

■柴田女子高等学校
25年度より「一括募集を実施
生徒の減少を抑止し、魅力ある高校づくりをするため柴田高校では普通・家政・情報と分けていた生徒募集を改め、科の枠を設けずに一括募集することになりました。入学生は一年間授業を受ける中で進路を考え、二年度にコースを選択します。普通科はみらい創造総合進学2コース、家政科は三冠王・調理食育の2コース、情報科はITビジネスコースがあり目的意識をもつて学ぶ効果を図ります。

「弘前の教育発展に貢献した人物」として
本学園の創設者柴田やす先生が紹介される



講演する工藤先生

弘前市立中央公民館主催の「第三回現代セミナーひろさき」で聴く新・人物の「教育に貢献した人物」に、兼松石居、本多庸一、柴田やすの三人が取り上げられました。11月29日に東北女子短期大学教授工藤の

「学園都市ひろさき」の可能性と大学の役割を考える

弘前市内6大学で構成する「学園都市ひろさき高等学校教育機関コンソーシアム」のシンポジウムが、12月1日に弘前大学医学部で開かれました。

学園から東北女子大学講師今村麻里子先生、東北女子短期大学教授真野由紀子先生がシンポジストとして参加し、食を通じて地域と交流している実例をあげながら意見を述べました。

第19回青森県高等教育機関懇談会が開かれる

10月25日に東北女子大学において、県内の大学、短期大学、高等専門学校、学校教育関係者合同懇談会も開かれ、「青森県の少子化人口急減に伴う活力の低下



活発に意見が交わされた懇談会

「広く深く、ていねいに保育の質を考える」
第27回東北地区私立幼稚園教員研修会弘前で開催
10月19日・20日の2日間、全日本私立幼稚園連合会主催の東北大会が弘前を会場に開催され、教員ら800

人が研修をしました。一日は市内幼稚園の公開保育と分科会、二日は弘前市民会館で川口淳一 郎氏の講演がありました。

教育と研究

柴田幼稚園では、公開保育のほか、免許状更新講習も兼ねた第6分科会「保育の記録」多層的な育ちと多面的な視点」を担当。神恵子園長は「大妻女子大教授岡健先生の助言を得て、日頃の保育を見直す良い機会になった」と話していま



柴田幼稚園公開保育「まちづくり

た。また第3分科会「保育者の役割」では東北女子短期大学准教授佐々木典彰先生が助言者を務め、現場の研修に協力しました。

■コンユータ専門学校のMOSS試験会場に
本年度よりコンピュータ専門学校在籍生がMOSS試験の試験会場に認定されました。

■自分の良い点伸ばそう
柴田女子高等学校では9月20日、早稲田大学スポーツ科学部教授葛西順一先生（弘前市出身）を招いて「明日に向かって」と題して講演会を行いました。講演で先生は、自らの卓球との出会い、自分の力を伸ばす



感謝の大切さを述べる葛西教授

2012 東北女子大学・東北女子短期大学 紀要51号 掲載論文

- 河西達夫：アカウミガメ胚の発生
- 西山邦隆・山田和歌子：冷蔵庫内のカビの発生について ～保存野菜を主として～
- 松宮ゆり：短期大学生における永久歯の歯に関する調査 -第3次臼歯（親知らず）の萌出について-
- 北山育子・澤田千晴・下山春香：青森県における行事食に関する調査研究 -年越しの行事食について-
- 今村麻里子：食育活動を広める料理教室の実践と課題 -平成23年度おさかな育食クッキングを通して-
- 諸岡みどり：「給食の運営実習」における栄養・食事計画の評価と改善
- 前田朝美・齋藤望：朝の活動量と食べる力及び身体状況の変化
- 齋藤望・前田朝美：食欲の日内リズムによるタイプ分け方法の検討
- 中島里美・阿部直子・真野由紀子：栄養士養成課程における献立作成の基礎力向上を目指して（第1報） -体験型学習法の検討-
- 花田玲子・山田和歌子・今村麻里子：食育ファームを活用した料理教室の実施報告 -野菜食育クッキング 収穫から食卓まで-
- 小澤 薫：国家総動員体制下における教育制度改革 2 ～青年学校教育男子義務制実施案要綱の提示とその特色～
- 西 敏郎：「学制」から「教育令」への教育改革の研究 ～改革の要因を社会学的視点から分析～
- 佐々木典彰・森 和彦・島内智秋：教育・保育実習生に役立つ子どもの観察ポイントの検討
- 葛西美樹・工藤 寧子：作品制作意欲と校外活動との関連 -作品展「ぬくもり」を通して-
- 尾崎康弘・高橋信進・花田玲子：家政学導入の試み
- 畑山 聡：行為無価値について（1）
- 大瀬恵理子：マリー・ウェプスターのキルトにみるクリエイティビティ -大衆紙The Ladies' Home Journal との関わりを中心に-
- 杉本久美子：The Last SeptemberにおけるDanielstown炎上の意味することについて
- 杉平拓道：パナソニックの企業分析（II） -イノベーションと組織戦略-
- 保村和良：明治期にアメリカへ渡った本県出身の女性医師 -須藤カクと2人の共働者Dr. ケルシーと阿部ハナ-
- 木村守克：藩政時代の食札に関する「給仕配膳仕様」について
- 篠村正雄：日本における旅人の保護について
- 佐々木 隆：『ヨハネの手紙1』を日本語訳でいかに読むか

東北女子大学

東北女子大と障害者施設 共同で新作パン開発

知的障害者らの就労支援施設「エイブル」と、栄養研究室の先生方とで共同開発した新作パンがこのほど完成し、11月から学生ホールで販売されています。

「価格が安く、ヘルシーでおいしいもの」をテーマに学生の意見・アイデアを盛り込み工夫しています。今回の新作メニューは、エイブル系列で作っている大豆100%の豆乳を使ったグラタンパン「豆乳deベジグラタン」、アンチョビの塩味とニンニク、オリブオイルの香りが食欲をそえるイタリア風カウターソースで仕上げた「バーニャボテ」の2品で、いずれも1個120円です。



ヘルシーな「豆乳 de ベジグラタン」

毎週木曜日の昼休みに事業所の利用者の方が販売にきていますが、多い日には270個も売れるという人気ぶりです。

栄養研究室では、「今後家政学科の3年生を中心に季節ごとの新作メニューを考案、おかずパンの開発に力をつけていきたい」と話していました。詳細はHPで

多彩な活動で喜ばれている 児童学研究部

「タツカ、タツカ、タツカ、タツカ」今日も体育館から元気よくスキップを踏むリズムカク足音が聞こえてきます。練習に励んでいるのは児童学研究部の1・2年生です。

これまで、部では学園祭や市民文化祭「人形劇まつり」で、オペレッタ「ヘンゼルとグレーテル」を発表。舞台いっぱいには大きなジェスチャーで表現し、それぞれの役になりきって、楽しんで演じていました。

観客席の子ども達からは「魔法使いやつつけられてよかったね」「お菓子の家って本当にあるの?」というささやき声が聞こえ、グリム童話の世界に浸っている愛らしげな様子が見られました。

また、12月17日に土手町



オペレッタ「ヘンゼルとグレーテル」

分庁舎で行なわれた、弘前保育所子育て支援センターでは、0歳から就学前の子40組を対象に大型紙芝居を見せたり、一緒に手遊び、ゲームなどをしたりして、12月のお誕生会イベントを盛り上げていました。

この他、定期的に活動している弘前市立図書館での「おたのしみおはなし会」も好評で、部員は子ども達とのふれあいを、毎回時間いっぱい楽しんでいきます。

専門学校

東北栄養専門学校

新たな明日のために 自分を磨こう

11月に化粧品メーカーの協力で、社会人ふさぎないメイクアップやスキンケアについて学びました。男子は髪を整え方やスキンケアなどを、女子は自分でメイクをしながら、ポイントを教えて頂きました。

身だしなみや化粧の仕方的印象が変わると自分に自信が持てるようになり「ゆとりある立ち居振る舞い」になることが分かりました。

身だしなみが洗練されたことで、これから始まる就職活動への意識が高まっていくことでしょう。

子どもたちの前で食の指導

12月、桜ヶ丘保育園と柴田幼稚園で媒体を使った食育教育を行いました。これは、栄養指導実習の一環として

「食に関する知識」を幼児にどれだけわかりやすく伝えることができるかを実践し評価するものです。各班は興味を引くような劇やペープサート等様々な媒体を用い、人前で発表することに慣れていない生徒も子どもたちの反応を見ながら臨機応変に対応していました。

数日後、両園の先生方からの感想の中に「子どもたちが発表で覚えたことを時折話していた」とのコメントがあり、生徒から思わず笑顔がこぼれていました。



好き嫌いがテーマの寸劇「バクモンスター」

東北女子短期大学

保育科2年が 劇・ミュージカルに挑戦



海賊船を工夫した「ピーターパン」

保育科2年が10月から「育実践演習」の授業で取り組んできた劇とミュージカルを、学内発表しました。1月16日が「不思議の国のアリス」で「ピーターパン」、1月23日が「白雪姫」と「オズの魔法使い」で、当日は学生や先生方で会場の50講義室は満席でした。

脚本、舞台道具、衣装等すべてが手作り。生き生き演ずる役者と音響・照明、ナレーションの息もびつた

りで、みんな物語の世界に引き込まれていました。

四大学合同茶会が 本学で開かれる

12月1日(土)午後、本学の礼法室で4大学合同茶会が開かれました。この茶会は弘前大学、弘前学院大学、東北女子大学と本学の茶道部が毎年一堂に会し、茶会を通して交流を深めているものです。

今回は、本学茶道部が当番になり計画しました。参加した30名は、お点前を披露したりお互いの席に入ったりしながら流派をこえてともに楽しんでいました。



本学茶道部のお点前

柴田幼稚園

昔ながらのお餅つき

幼稚園では毎年12月に、杵と臼を使った昔ながらの餅つきを行いました。当日は父母の会会長さんや年長組の保護者の方がお手伝いに来てくれました。

部屋中にもち米の甘い匂いが広がり「子ども達はよいしょ、よいしょ」と声を掛けながら、出ま上がり



「うわあ、おもちが伸びた〜」

寒さに負けず楽しんだ 雪上運動会

晴れあがった青空、園庭の真っ白な雪! 1月28日の年長組「雪上運動会」は、悪天候で延期されていただけに子ども達は大張り切り、色とりどりのスキーウェア



で集まり、準備体操のあと「エイエイオー」の掛け声で競技を始めました。種目は、かけっこ、みかん拾い、雪合戦。みんな雪に足をとられながらも、笑顔いっぱいです。冬の遊びを十分楽しんで、風邪の季節を元気に過ごしてね。

【研究テーマ】

1. 自動危険回避システム
2. ARを教育現場に ~目で学ぶ仮想現実の可能性~
3. Androidでお年寄り生活 サポートアプリ
4. プレゼンテーション! ~with Android~
5. Learning Plan Support ~学習計画支援システム~



スマートフォンで実演する発表者

震災復興支援活動で 「小さな親切」実行章を受章

10月19日に、生徒会長の2年佐々木美桜さんと副会長の1年成田佳奈菜さんとが、東日本大震災の復興に役立ててほしいと、柴高祭販売コーナーの収益の一部(11万6087円)を義援金として社会福祉協議会に寄付しました。その後、これまでの地道な支援活動が「小さな親切運動」本部に認められ、12月25日付で実行章を受章しました。



表彰状を手に生徒会長佐々木さん

柴田女子高等学校

四戸知佳さん、県内スキー大会で4冠達成

1月21日・22日に大鰐温泉スキー場で行われたアルペン県内スキー選手権で、3年四戸知佳さん(野辺地中学校出身)が大回転で2連覇を達成しました。1月中旬の県高校スキー大会でも大回転と回転の2種目を制



県高校スキー大会で連覇した四戸さん

覇しており、同じ中学校出身の3年村中歩美さんが怪我で参加できなかった分も頑張れたと喜んでいました。また「調子が良くなってきているので2月5日に札幌市で開幕するインターハイで、青森県の選手全員が活躍できるように先頭切って表彰台に上がりたい」と意気込みを語っていました。

同大会には、3年押味輝さん(札幌市篠舞中出身)も海外遠征から帰国して出場する予定で、上位入賞が期待されます。ほかに1年竹中葉月さん(宮城県館中出身)もインターハイめざして頑張っています。

速報 1月6日・大回転 準備勝押味 6位 四戸

速報 1月6日・大回転 準備勝押味 6位 四戸

速報 1月6日・大回転 準備勝押味 6位 四戸

速報 1月6日・大回転 準備勝押味 6位 四戸

速報 1月6日・大回転 準備勝押味 6位 四戸

学園TODAY

学園TODAY



~2012~ 学園の秋は祭一色



東北女子大学後夜祭【中央写真】
青森県出身のアーティストsoniaさんを
迎えてはじめる!!学生たち

学校法人 柴田学園 INFORMATION

- | | | | | |
|---------------|-------------------------|---------------|---|-----------|
| ■柴田学園本部 | 〒036-8503 弘前市上瓦ヶ町25番地 | ☎0172-32-6151 | E-mail shibahonbu1923@diamond.broba.cc | 理事長 今村 吉彦 |
| ■東北女子大学 | 〒036-8530 弘前市清原1丁目1番地16 | ☎0172-33-2289 | E-mail zimu@tojo.ac.jp | 学長 小澤 薫 |
| ■東北女子短期大学 | 〒036-8503 弘前市上瓦ヶ町25番地 | ☎0172-32-6151 | E-mail gakumuka@toutan.ac.jp | 学長 河西 達夫 |
| ■東北栄養専門学校 | 〒036-8503 弘前市上瓦ヶ町12番地1 | ☎0172-32-6152 | E-mail eisen@tcomp.ac.jp | 校長 河西 達夫 |
| ■東北コンピュータ専門学校 | 〒036-8503 弘前市上瓦ヶ町12番地2 | ☎0172-32-6154 | E-mail comp@tcomp.ac.jp | 校長 河西 達夫 |
| ■柴田女子高等学校 | 〒036-8154 弘前市豊原1丁目2番地1 | ☎0172-32-0135 | E-mail shibatah@educet.plala.or.jp | 校長 片岡 通夫 |
| ■柴田幼稚園 | 〒036-8163 弘前市清原1丁目1番地1 | ☎0172-32-6518 | E-mail shibayoi@jomon.ne.jp | 園長 神 恵子 |

● 編集後記 ●

平成19年の正月は雪がなく、短大
女関の門松がしょぼり見えた記
憶があります。近年雪の多い冬を迎えるたびに「あの頃の地
球温暖化さわきは何だった？」と不思議でなりません。
さて例年この季節、柴田高校バスケットボール部とスキ-

部の活躍は冬のウツ気分を吹き飛ばしてくれますが、本号で
は全国レベルの快挙を果たしたバスケット部を特集しました。他
にも各校から劇やミュージカルに挑戦した話題や充実した学
校生活を伝える記事が寄せられ、春を待つ咲く花芽の成長
を見るような気がしました。 柴田学園編集委員会